

2007

2月号



455

広報

かわち



おめでとう！新成人



(写真：平成18年度 成人祝賀パーティーより)

<主な内容>

成人の日……………P2～5

(誓いの言葉、二十歳の提言)

44年の歴史に幕！！学校給食センター……P6～7

第2回小・中学校統台検討委員会開催……P8

生涯学習のとびら……………P10～11

成人の日

大人としての自覚を胸に



1月7日、二十歳の門出を祝う環境改善センターを会場に成人式典が開催され、晴れて149人の新成人が大人の仲間入りをしました。

式典では、新成人を代表し塚本藍さんが『誓いの言葉』を宣言し、各分館ごと7人の代表によつて『二十歳の提言』が行われ、成人としての感想や抱負を發表しました。



◆誓いの言葉◆



塚本 藍さん

本日、ここに晴れて成人の日を迎えることができ、大変幸せと感じるとともに、今日まで温かく見守り続け、支えてくれた家族や先生方、そして、このような盛大な式典を開催して下さった地域の皆様のお陰であり、深く感謝致しております。只今、野高町長はじめ、ご来賓の皆様からの心温まるご祝辞をいただき身が引き締まる思いがいたします。心よりお礼申し上げます。今日、成人の日を迎え社会人としての一歩を踏み出した訳ですが、まだ、学生ということもあり、余り実感がわかないというのが正直な所です。しかし、成人になったということとは、社会から大人の一員として、選挙権も与えられるということであり、更に自分の行動・言動に責任を持ち意識を高く、生活していかねければなりません。常に、感謝の気持ちを心に、人間としてより成長できるように、そして、少しでも社会へ貢献できるような日々精進してまいります。しかし、まだまだ未熟な私達ですので、これからご指導・ご助言頂けますようお願い致します。私達は社会人としての責任、自覚を持ち、一歩ずつではありますが、邁進していくことを宣言し、誓いの言葉とさせて頂きます。

◆二十歳の提言◆

大野 春佳さん(第1分館)



本日は、私たちの為にこのような盛大な式典を催していただき誠にありがとうございます。

この稲敷の豊かな大地に生まれ、この町に育ち、無事に成人式を迎える事ができ嬉しく思います。同時に今日まで温かく見守り続けて下さった先生方、地域の皆様、共に成長してきた友達、そして家族に心から感謝の気持ちでいっぱいです。

中学校を卒業して早や五年が経ち二十歳になり大人への第一歩を踏み出しました。私は今、小さい頃から夢であった保育士になるため専門学校に通っています。学校では、ピアノや幼児実技といった授業をはじめ、様々な科目の授業を通して、保育に必要な知識や技術を学んでいます。昨年十一月には、教育実習生として河内第一幼稚園で一ヶ

月間の実習を行いました。慣れない環境の中で戸惑う事も多かったが、園長先生をはじめ多くの先生方の励ましとご指導のおかげで、楽しく実習を行うことができました。改めて保育の重要性を感じました。また、園児達と直接遊び触れ合うことで机の上では学ぶことも出来なかった、たくさんのもので得ることが出来、保育士になりたいという思いがいつそう強くなりました。

さて、連日のようにテレビや新聞から弱い立場の人間に向けての少年による暴力・犯罪、簡単なようで難しい社会のルール、規則を守る事が出来ない事から起こる悲しい出来事が多すぎます。身近な所でも掃除や片付けが出来ない、生活リズムが乱れた中でも健康であると思ってしまう事、物が溢れ過ぎた環境の中で、その重要さ大切さを忘れてしまっていないか、まだまだ考えさせられる事がたくさんあります。善悪の判断をつけ、このような社会に揉まれることのない精神力を身につけていきたいと思えます。

そして、自ら選んだ夢を実現する為に今出来る事を精一杯実行し、今までの経験を生かし、これからも多くの事を学び、後

悔のないように一日一日を大切に過ごして行きたいと思えます。これらの事を胸に、「二十歳の提言」とさせて頂きたいと思えます。本日は誠にありがとうございます。

田中 康訓さん(第2分館)



本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を開いて頂き誠にありがとうございます。

今、この二十年間を振り返ると、二十年という月日は非常に早いもので、あつという間に過ぎたことを実感し、この二十年は両親や友達、学校の先生方など本当に大勢の方々を支えられてきた二十年であり、二十歳を迎えた今、改めて皆さんへの感謝とお礼の気持ちを申し上げたいと思えます。

新成人の皆さん、成人式を迎えた今、皆さんはどのような心境でしょうか。僕は成人式を迎えた今でも正直、二十歳になり、大人の一人として認められたという実感

はあまりなく、成人式を迎えても、今までの生活と大きな変化はないでしょう。しかし、大人という立場で見られる今、自分の一つ一つの行動に自覚と責任を持ち、今まで皆さんに助けられてきた場面でも、自分で考え、悩み、困難にも自分一人で解決できるように力を身につけていかなければならなく、今後は今までお世話になった皆さんを手助けし、恩返しができるよう努力したいと思えます。またこれからも一日一日を悔いの残らないよう学校生活を有意義なものとし、夢に向かって日々努力していきたいと思えます。

簡単ではありますが、これをもって二十歳の提言とさせていただきます。

秋山 聡さん(第3分館)



本日は、私たちの為にこのような盛大な式典を催して頂きまして誠にありがとうございます。今日まで見守り支えて下さった、たくさんの方先生方、地域の皆様、そしてどんな時も側にいて背中を押してくれた家族に深く感謝致します。

現在、私たちは中学卒業から五年が過ぎました。大学生として勉強に励んでいる者、社会に出て自分の道を歩き出した者、少しずつ進む道が分かれてきているところです。そして本日私たちは二十歳を迎え、晴れて社会の一員となり、責任ある一人の大人として、今日ここに多くの友人と共に同じスタートラインに立ち、顔を合わせる事ができました。ことを大変うれしく思っております。

もう社会では、大人としての扱いで選挙権をはじめ新たな権利や義務を元に社会に参加していかなければなりません。でも、今は正直なところ喜びだけが先に立ち成人としての心構えも未熟です。なぜなら私自身



◆二十歳の提言◆

まだ学生なので社会に出て働くという事はアルバイトでしか経験していません。そんな短い時間の中でさえも嫌だと思ふことが多々あります。今は私がままということですまざれている甘い状況にいることも事実です。しかし、二年後、学生を卒業したときは社会人として厳しく評価されてくると思います。今まで以上に躓く事もあると思いますが、そういった不安を乗り越えていく為にも、周りの人の意見は大切に聞き入れ、現実には正面から受け止め、一步一步自立していくことをここに誓います。大変簡単ではありますが、二十歳の提言とさせていただきます。

大竹 知美さん(第4分館)



本日は、私達の為にこのような盛大な式典を催して頂き誠にありがとうございます。今日まで私達の成長を温かく見守り、ご指導くださいました先生方、

地域の皆様、共に成長してきた多くの友人、そして、今こうして無事に二十歳を迎えることができたのは、最も身近で心の支えとなりどんな時も寄り添ってくれた家族のお陰であり、深く感謝致しております。

今までを振り返ってみますと十代の頃は、周りに甘えてばかりで何かと無茶な事をしてきました。これからは、少しずつ周りの環境は変化していき、今より多くの困難に立ち向かい、沢山の不安を胸に抱える事になると思います。成人した今、私達は、一社会人として十代の頃とは違う気持ちで自立していかなければなりません。既に自立している人もいる中、私はまだ自立出来ていません。

現在、東京の専門学校で、将来の夢である歯科衛生士になる為、親元を離れ、毎日、専門的な勉強、実習、そして一人暮らしと辛い反面とても充実した生活を送っています。今年の春に卒業を間近にした今、多少の不安はありますが、自らが選んだ道なので後悔のない様に、一日一日を大切に、一社会人としての自立への第一歩を踏み出すとしていきます。

今はまだ、親の援助を受けている身ではありますが、成人と

なつたうえは、社会人としての自覚と責任感を持って行動する決意を固めております。まだまだ未熟ではありますが、自らの夢に向かい努力していくと共に、今後、少しでも地域社会に貢献し、お世話になった多くの方々に対し、恩返しが出来る様成長していきたいと思っております。これから私達にとって新たな人生のスタートですので、一歩ずつ、しっかりと足を踏み出していくつもりですので、どうぞ温かい目で見守って下さい。簡潔ではありませんが、今この場で述べさせて頂きました事を私の「二十歳の提言」とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



市村 祐二さん(第5分館)



本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を催していただきありがとうございます。本日は、無事に成人式を迎えられたことを大変うれしく思います。これまで支えてくださった家族、友人、先生方、地域の皆様には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私は今、親から離れて一人で学生生活をしております。そして、好きなスポーツをできることに感謝しております。私のスポーツの原点は、この河内町で小学校一年生から始めたサッカーです。一緒にプレーをした友が、今日ここにたくさんいることに喜びを感じております。

今二十年をかえりみれば、小学校の頃は、ただスポーツをすることが楽しくて楽しくてしかたなかった時で、スポーツをすることの喜びを、中学校では、練習の苦しさや勝つことの難し

さ、そして、勝利の喜び、友との友情を。高校では、すばらしい師との出会いを通し、人として何が大切かを学びました。これらすべてのことが今の自分を形作ってきたのだということに、改めて気づかされます。今、二十年間自分を支えてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもたくさんの方々にお世話になりながら生きていくことと思いますが、これから、自分の学んだことが少しでも社会の為になることができるように願っています。

今日、ここに二十歳の提言をすることは大人への出発でもありません。大人になるということは自分の言動に責任を持つことであると共に、人や社会のことを考えることでもあると思います。自分の言動に責任を持つことは大変なことであり、謙虚な気持ちで相手の考えを受けとめ、たくさんを経験を積み、正しい知識と判断力を身につけなければなりません。経験すべてが自分の糧となることを信じて、失敗を恐れずに歩んでいきたい。さらに21世紀を生きる私たちには、たくさん社会問題を抱えています。自分の周りで起こっていることだけでなく、常に社会全体に目を向けていきたいと思っています。政治に参加できる立場

になった今こそ、社会の動向を見極める目を持ち、大人としての自覚と責任を持って、これからの時代を生きていきたいと考えます。

最後に、まだまだ未熟な自分ではありませんが、これからの未来に向かつて夢と希望をもち、一日一日を大切に、悔いのない人生を歩んでいきたいと思えます。以上、簡単ではありますが、二十歳の提言をさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

江口 貴大さん(第6分館)



本日は、私達の為にこのような盛大な式典を催していただき誠にありがとうございます。こうして無事に成人式を迎えられることを大変幸せに思います。そして同時に、これまで温かく見守り、支えてくださった家族や親戚、友人や先生方、そして地域の皆様深く感謝申し上げます。

今までの二十年間を振り返ってみると、実に長いようで早いもの

であつたと感じております。私は、

この二十年という歳月の中で様々なことを学んだり、様々な出来事を経験したりしてきました。その経験の中には、苦痛に感じる事や行き詰まる事などもありましたが、様々な人達に支えられたり、自分で壁を乗り越えながら成長をしてきました。今考えてみると、このような経験一つ一つには意味があり、その経験一つ一つが成長の糧となつて今日の自分を形作り、大人への階段を上つてきたのだと改めて感じております。

二十歳となつた今、私達は成人として改めて歩き出します。今日この場にいる成人となつた皆さんはどのようなことを考えたり、感じたりしているのでしょうか。自身はまだ学生である為か、成人になつたという実感が少ないように感じます。

しかし、成人になつたということとは、社会の一員として責任や義務を果たしていくことが必要となつてきます。また、選挙権が与えられ、政治に参加する立場となつたことで、今まで以上に社会問題に目を向け、真剣に考え、積極的に政治に参加していくことが重要になってきます。そして、今までの支えられる立場から支える立場になるといふことも忘れてはいけません。

これからは、このようなことを胸に刻み、責任と自覚を持つて行動していきたいと思えます。また、人と社会との関わりの中で様々な壁があると思いますが、それを乗り越えながら一人前の大人となつていけるように努力していきたいと思えます。皆様への感謝と自らの決心の意を込め、二十歳の提言とさせていただきます。ありがとうございます。

篠田 聖真さん(第7分館)



例年より暖かく過ごしやすい中で成人式を迎える事が出来ました。そしてこの式典に際し、二十歳の提言をとの依頼を受け、改めて今までの事これからの事を考える機会を与えて下さつた事に感謝いたします。

私は今、航空整備士を目指しその専門学校に通っています。地元を離れ、一人暮らしを始めてもうすぐ二年になります。学校の先生方や友達、又地域の方々に助け

られ様々な事で勉強になっていきます。

これまでを振り返り、自分が一番成長出来たのは、中、高校と野球部に所属し沢山の事を経験した事にあると思えます。まず、チームメイトと目標に向かい練習する事で友達を敬う気持ちが自然に身に付いた事。航空整備士も同様、チームとして行動する事がほとんどで、自己中心的な行動をとつたり無責任な作業をしようとするチームに大きな迷惑をかける事になります。これから社会に出ると多くの人との付き合いがあるでしょう。その中で相手を敬う気持ちがとても大切な事になると感じ始めました。私達の野球部は目標を達成する事ができませんでした。当時はただ悔しさが込み上げてくるばかりで達成感や充実感が得られなかったのを覚えています。しかし、今考えると試合に勝つ事がすべてではないと改めて思う様になりました。友達と毎日同じ練習をし、同じ道を帰り仲を深め充実した日々を送っていました。その時の友達とはこれからも長く付き合い合っていたらと思います。野球を通してその様な友達が出来た事に心から感謝しています。

この様な事から、目標に向かつて努力してもそれが実らずに終わってしまう事がこれから多々あると

思います。その時は努力を無駄とは思わず、その過程で何か大切な物を得て成長して行く事と信じて何事にも挑戦したいと思えます。

これから私は就職活動に入りませんが、今の日本の高度成長を支えてきた団塊の世代の方々がこの春より徐々に退職していきます。そういった中で就職はとも恵まれていないと思えますし、色々な事に挑戦する幅も広がると同時に私達がしっかりとしなければという思いにもなります。

最後に、今日これまで私達を温かく見守つて下さつた家族、地域の方々、ありがとうございました。



◆二十歳の提言◆

平成2年、衛生管理や調理の効率化を図るために現在既
存している学校給食センターが建設されました。
(平成2年5月号より)



学校給食センター



学校給食センター
おしへのびたよ

新しい大きな給食センターは、平成2年5月に完成し、同年6月に開業しました。従来の給食センターは、調理と配膳が別々に行われていたため、衛生管理や調理の効率化が図れず、給食の品質向上が困難でした。新しい給食センターでは、調理と配膳が一体化されたため、衛生管理が徹底でき、調理の効率化も図られました。また、給食の品質向上も図られています。



福祉センター

オープン

地域福祉活動の拠点に
やすらぎとふれあいの場

**福祉センター
学校給食センター**

21世紀を担う児童生徒の
栄養と体力の向上を



合同竣工式

平成2年5月10日、福祉センターと学校給食センターの合同竣工式が挙行了。式には、関係者約100名が参加しました。式では、関係者の挨拶が行われ、新築された福祉センターと学校給食センターの概要が説明されました。また、関係者の間で、今後の連携協力について話し合われました。

平成18年、行政改革を推進していくなかで給食センター
業務の民間委託が進められました。
(平成18年8月号より)

民間委託への経緯

平成18年7月、行政改革の一環として、学校給食センター業務の民間委託が決定されました。これは、行政の効率化とサービスの向上を図るためです。民間委託には、民間企業による経営の効率化と、サービスの向上が期待されています。



これからの予定

民間委託後は、民間企業による経営の効率化と、サービスの向上が期待されています。また、給食の品質向上も図られています。今後の予定としては、給食の品質向上と、サービスの向上を図ります。

**「これ」なる効率化
に向けて**

行政の効率化とサービスの向上を図るため、民間委託が決定されました。民間委託には、民間企業による経営の効率化と、サービスの向上が期待されています。

業務の民間委託で見込まれる主な効果

- 給食加工経費、施設の維持管理費や設備投資費などの経費削減
- 民間企業による更なる給食の質的充実向上
- 責任による汁物の実施
- 献立内容の拡大

**行政改革の
具体的な取組み**

「給食センター業務の民間委託について」
平成18年7月、行政改革の一環として、学校給食センター業務の民間委託が決定されました。これは、行政の効率化とサービスの向上を図るためです。民間委託には、民間企業による経営の効率化と、サービスの向上が期待されています。

現在の状況

平成18年8月、民間委託が完了しました。民間企業による経営の効率化と、サービスの向上が期待されています。また、給食の品質向上も図られています。

河内町の町民・児童・生徒数の推移 (単位:人)

年次	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
町民	281,294	278,259	275,224	272,189	269,154	266,119	263,084	260,049	257,014	253,979	250,944
児童	137,102	135,067	133,032	131,000	129,000	127,000	125,000	123,000	121,000	119,000	117,000
生徒	144,192	143,192	142,192	141,192	140,192	139,192	138,192	137,192	136,192	135,192	134,192
合計	562,586	556,518	550,456	544,391	538,326	532,261	526,196	520,131	514,066	508,001	501,936



給食最後の日、河内第一幼稚園では、園児から感謝の言葉と歌の贈り物がありました。

町内小中学校と幼稚園の始業日となった1月9日、河内町の学校給食が民間委託という形で新しいスタートをきりました。

新しい試みということで、最初は戸惑いなどを感じることもあると思いますが、保護者等の皆様のご理解とご協力を賜りながら、河内町の将来を担う子どもたちのために「安心・安全でおいしい学校給食」を推進してまいります。よろしくお願い致します。

第2回小・中学校

統合検討委員会開催



第2回小・中学校統合検討委員会が12月21日(木)に行われました。

今回は、前回の委員会の際事務局より提案した統合計画(案)に対して、その後各団体において検討された内容やその中で寄せられた意見の報告、小・中学校統合計画

の方法・時期並びに統合校の位置等について、意見交換並びに今後のスケジュールについて協議検討されました。

学校統合に関しては、児童・生徒たちに直接関わる重要な問題です。現在委員会では、次世代の河内町を担う児童・生徒たちがのびのびと健やかに育っていくための適正な教育環境づくりについて、また、その為の安全・安心な施設整備及び統合に際し、児童生徒や保護者に対してなるべく負担を掛けない方法での実現に向けて協議・検討をしています。

今後、検討委員会において協議・検討を重ねる中で統合の方向性が具体化され次第、説明会等を開催して参りたいと考えています。

次回の委員会開催は、2月13日(火)を予定しています。

確定申告についての相談はお早めに

- 平成18年分の個人の申告と納税については、次のとおりです。
 - ・所得税・・・平成19年2月16日(金)から平成19年3月15日(木)
 - ・贈与税・・・平成19年2月1日(木)から平成19年3月15日(木)
 - ・消費税及び地方消費税・・・平成19年4月2日(月)が期限
- 竜ヶ崎税務署では、上記期間中の2月18日と2月25日の日曜日2日間に限り、申告の相談や申告書の受付を行います。(現金納付の窓口業務は行いません)

なお、これ以上の土、日、祝日は閉庁日のため業務を行っておりませんのでご注意ください。

※駐車場が狭く、申告期間中は大変混雑しますので、車での来署はご遠慮ください。

町内の申告相談の日程は以下のとおりです。

会場	月 日
生板地区 (福祉センター)	2月15日(木)～22日(木)
源清田地区 (役場2階会議室)	2月23日(金)～3月1日(木)
長竿地区 (中央公民館)	3月2日(金)～6日(火)
金江津地区 (つつみ会館)	3月7日(水)～15日(木)

- ◎各会場とも時間は、
 - <午前の部> 9時～12時まで
 - <午後の部> 1時～3時までです。
- ◎3月4日、11日の両日を町内全域日(休日対応)として設けますのでご利用ください。(両日とも大変混み合うことが予想されますので、なるべく各地区会場をご利用下さい。また、竜ヶ崎税務署の休日対応日とは異なりますのでご注意ください。)

◆お問合せ先◆ 竜ヶ崎税務署
役場企画財務課 税務G住民税担当

TEL 66-1303 (代表)
TEL 84-2111 (内線166、167)

申請手続きはお済ですか 「難病患者支援費」支給制度

この制度は、難病患者の皆さんの闘病とその保護者の方の苦勞に報いるとともに、難病の皆さんに対する社会的理解を深め、福祉の増進を図ることを目的に平成18年10月から行われているものです。

- **受給資格** 河内町に在住し、茨城県から発行された「一般特定疾患医療受給者証」をお持ちの方、又はその保護者の方
- **申請方法** 一般特定疾患医療受給者証、印鑑、預金通帳等振込先のわかるものを持参のうえ、河内町保健センターの窓口で申請してください。
- **支援費** 月額3,000円（申請日の属する月から支給します。）
 - ※平成18年度は平成19年3月31日までに申請があった場合、
 - ・平成18年10月1日現在で受給資格をお持ちの方は10月分から
 - ・平成18年10月1日以降に資格取得された方は、資格取得日の属する月分から支援費の支給対象になります。
- **支給方法** 毎年9月と3月に指定の金融機関に振り込みます。
- ◆ **申請・問合せ先** ◆ 河内町保健センター TEL 84-4486

県民交通災害共済受付中

県民交通災害共済は、年間900円の会費（中学生以下500円）を添えて申し込みすることにより、自動車、バイク、自転車などの事故で生じたケガや死亡の際に、見舞金を受け取ることが出来る共済制度です。共済期間は1年間で、平成18年度の共済は3月31日で期限切れとなります。

平成19年度も共済を更新される方、又は新たに加入を希望される方は忘れないよう手続きを済ませてください。

- ▼ **受付場所・期間**
- ・ 役場総務課交通防災係
- 2月1日（木）～随時
- 午前9時～午後5時まで
- （土日祝日除く）

※出張受付は下表のとおりです

▼ **申込み方法**

受付場所へ会費を添えて、直接申込みください。

▼ **問合せ先**

総務課交通防災係

TEL 84-2111（内線123）

出張受付日程表

会場	期 日	時 間
福祉センター	2月26日(月)	午前10時～ 午後3時
農村環境改善センター	2月27日(火)	
つつみ会館	2月28日(水)	



自衛官募集

受 験 種 目	2等陸・海・空士(男子)	予備自衛官補(一般・技能)
受 験 資 格	18歳以上27歳未満の男子	一般：18歳以上34歳未満 技能：18歳以上で保有する技能に応じ53歳～55歳未満の者
受 付	年間を通じて行っています。	4月9日(金)まで
試 験 日	2月16日(金)	4月14日(土)、15日(日)、16日(月) ※いずれか1日を指定
場 所	勝田駐屯地	別途各人に通知します

※詳しくは、下記のところまでお問合せください。

自衛隊茨城地方協力本部 龍ヶ崎地域事務所 茨城県龍ヶ崎市寺後3629-5

TEL 64-3351

URL <http://www.ibaraki.plo.jda.go.jp>

E-mail hql@ibaraki.plo.jda.go.jp

生涯学習のとびら

H18. vol.7

◆問合せ先◆

河内町長竿3689-1

河内町教育委員会事務局生涯学習G

☎0297-84-2843 (中央公民館内)

自己の充実・啓発や生活の向上のために、自発的に自分にあった方法で生涯を通じて行う学習・・・それが『生涯学習』です。

『生涯学習のとびら』では、定期的に生涯学習に関する情報（案内や結果など）を提供、お知らせしていきます。

歩け歩け会

平成18年12月17日(日)

千葉県房総のむら周辺(約10km)

曇り空の中スタートし、会話を交わしながらゆっくりと大地を歩き、普段見ることのない風景に目をやりながら、参加者それぞれが普段鍛えた健脚を披露し、全員が楽しく約10kmの道のりを完歩しました。



河内町体育協会事業

スポーツ大会

結果

インディアカ大会

◆期 日◆ 1月28日(日)

◆会 場◆ 農業者トレーニングセンター



優 勝 第二分館B

準優勝 第七分館B

第3位 ポコちゃん

第4位 あっちゃん

第5位 第六分館

成人式でのスナック ~旧友たちとの楽しい再会~



かわち チャレンジスクール



「親と子の料理教室」

平成19年1月27日(土)



食生活推進員・かわちチャレンジスクール実行委員会の共催で、「親と子の料理教室」が開催されました。かわいい顔のラップごはんや手作りウィンナーなどを上手につくりおいしくいただきました。食後には食事のマナーを親子で勉強しました。

「凧を作って飛ばそう」

平成19年1月5日(金)



紙を切って折ってつくった凧。

この日は凧揚げにはちょうど良い風がふき、みんな上手に高くあげられ喜んでいました。

「ブーメランつくり」

平成19年1月30日(火)



成田国際空港株式会社(NAA)常務執行役員の伊藤斉(いとうひとし)さんに講師としてお越しいただき、ブーメランつくりが行われました。講師による板製ブーメラン投げのデモンストレーションから始まり、子どもたちは紙製のブーメランを作って投げました。講師をはじめボランティアの方達にお手伝いいただき、楽しめたようです。安全な遊び方をご指導いただき、おみやげに板製のブーメランをいただきました。

今後の行事予定

家庭教育講演会	2月24日(土)	10:00~11:30	中央公民館大会議室
			演題:「きずな」 講師:土浦日本大学中学校長 程塚洋氏
河内町歴史講座	3月11日(日)	10:00~12:00	中央公民館大会議室
			演題:「利根水運と河内の文化 ~一茶と一白、赤松宗旦、海保可川をめぐって~」 講師:河内町文化財保護審議委員 鈴木久氏
スポ少ふれあいまつり	3月11日(日)	8:00~	総合グラウンド・トレーニングセンター

みなさん、奮ってご参加ください。お問合せは中央公民館までお願いします。

町民の快適な健康づくりの推進を目指して

保健センターだより

～ お子様の予防接種はお済みですか？～

予防接種とは、各種の感染症に対する免疫を持たない者を対象に、感染予防、発病防止、症状の軽減、病気の蔓延防止などを目的として実施されています。予防接種は、多い病気や、かかると非常に症状が重い病気については定期接種として、接種が勧奨されています。自分の子供は大丈夫！と思って受けないと、病気にかかってしまったり、他人に移してしまうこともあるのです。また、大人になってからかかると症状が重い場合もあります。お子さん自身のためにはもちろんですが、保育所や学校などでの集団発生を防ぐのも一人ひとりの予防からです。

現在の日本では、感染予防といってもあまりびんとこないかもしれませんが、予防接種の普及によって、防がれている病気はたくさんあるのです。一例として、はしか（麻疹）や結核などがそうです。

定期の予防接種は受けられる年齢になったら早めに接種することがすすめられ、そのために法律も変わりました。

お子さんの定期の予防接種

定期接種	対象年齢	接種方法
BCG（結核）	3カ月から6カ月未満	1回
ポリオ （急性灰白髄炎）	3カ月から7歳6カ月未満	2回
三種混合 （百日咳・ジフテリア・破傷風）	1期初回：3カ月から7歳6カ月未満	3～8週間隔で3回
	1期追加：7歳6カ月未満	初回終了後1年から1年半後
日本脳炎	厚生労働省の勧告により見合わせております	
はしか・ 風しん混合	第1期：生後12カ月から24カ月未満	各1回
	第2期：5歳から7歳未満でかつ、就学前の1年間	



※平成18年に、法改正にともなう経過措置で交付されている、はしか、風しん、はしか風疹混合の予防接種予診票の有効期限は平成19年3月31日です。

平成18年度 生活習慣病予防週間のスローガンが決定しました。

「ウエストのサイズダウンで健康（ヘルス）アップ！」

日々の生活を少し見直して、メタボリックシンドロームから脱出しましょう！！

冬は家に閉じこもりになりがちです。少し体を動かすと体が温まり気分もすっきりしますよ。

◆申込・問合せ先◆ 保健センター ☎ 84-4486 又は 84-3682

俳句

かわち俳句会

何事もなき幸せや初鏡

杉原利代

ふくよかに心も和む福寿草

吉田四郎

寒灯や利根を枕に眠る街

橋爪かん

家中の笑い集めて冬燈

寺田節子

日の匂いためて切干仕上りぬ

大塚一重

冬灯し峡のしじまの杣屋かな

若泉栄治

さづかりし趣味を頼りに老の春

鴻野たけ

初写真八十路の父を真中に

川口ふく

健康の二文字に託す筆はじめ

田沼和子

佛にも湯気ごと供ふ七日粥

田中康夫

丹念に顔拭く猫や福寿草

大野志げ子

一步引く八十路のゆとり冬日和

津根としお

短歌

かわち短歌会

鰯つみれ遠き日の味覚思いつつ作る今夜は部屋中匂ふ

大火事の一部始終を目な裏に八十年余詳に抱く

洗われて清しき大気筑波嶺の後ろに見ゆる日光連山

大晦心静かに新年をとば裏腹に猫の手かりたし

枯れ草の一気に燃えて燻ぶる根煙は吾に寄り添うごとし

人間が一番愚かと省りみて心を耳に聞く除夜の鐘

(生板)

青木保

山田マサエ

青木保

石山候江

青野清一

久松浩洋

庄司登千子

庄司登千子

「緊急地震速報」について

「緊急地震速報」は、震源に近い観測点で地震を検知し、直ちに震源や地震の規模（マグニチュード）、各地の震度などを推定し、大きな揺れが始まる前に防災行動をとることにより、地震被害の軽減が期待されます。

しかし、緊急地震速報には、情報の提供から大きな揺れが始まるまでは長い場合でも数十秒程度であり、①震源に近いところでは、情報の提供が主要動の到達に間に合わない場合がある、②震源、マグニチュード、震度等の精度が十分でない場合がある、③まれにはあるが、ノイズ（雷や事故など）により誤報が発信されるおそれがある、などの技術的な限界があります。

気象庁では、緊急地震速報の提供に伴う事故や混乱を防止しつつ、地震による被害を少しでも軽減するため、平成18年8月1日から現時点においても緊急地震速報を混乱なく利用できる分野への先行的な情報提供を開始しました。

今後、関係機関と協力して、テレビ・ラジオ等で放送していただく際の具体的な表現や、住民のみなさまが緊急地震速報を受信したときにどのような行動をとるべきかという「心得」などについて検討を進め、これらについて十分な周知・広報を行った上で、平成19年中の実施を目標に、広く一般への情報提供を開始することを計画しています。

なお、緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp>）をご覧ください。

◆問合せ先◆ 水戸地方気象台防災業務課 TEL 029-224-1106

防災活動の決意を新たに！

平成19年河内町出初式



消防庁長官表彰

(勤続15年以上退団者)
植武春彦、山田卓司

茨城県知事・県消防協会会長表彰

(勤続5年以上15年未満退団者)
篠本友之、小更 茂、伊藤昭一
糸賀栄起、白鳥延孝、石田勝美
齋藤良江、中西富子、小更早苗
野澤朋子

茨城県知事表彰

(永年勤続功労章 20年以上)
菊地真一、秋鹿叔則、鶴間良典
小更和也

茨城県消防協会会長表彰

(優良分団表彰)第12分団
茨城県消防協会県南南部支部長表彰
青野宏士

河内町優良団員町長表彰

(勤続10年以上)
大塚正明、熱田 正、野高 輝
秋山潤一、大津勝之、森下健史
眞仲昭和、鴻巣成規、浅野大介
若泉 淳、林 和洋、中澤英治
川嶋真一、島崎将一、萩原敏彦
仲代直人、石山哲也、篠本 明
垣沼英樹、高松光児、大月 涉
大野勝敏、平山政明、塚本光夫

1月6日、河内町消防団出初式が、町消防団員や関係者が参加して、農業者トレーニングセンターで行われました。
団員の皆さんは、人員、服装の点検などきびきびした動作で行い、消防活動への決意を新たにしました。
この後、会場を環境改善センター内に移し、野高町長からの講評・訓示、優良分団や団員の表彰後、来賓の方々への祝辞をいただきました。
なお、受賞者は次のとおりです。



河内町優良団員町長表彰

(勤続10年未満の分団長)
細井秀紀、垣沼 実、酒井 妥
塚本智文

河内町特別優良団員町長表彰

(勤続10年以上で河内町消防ポンプ操法競技大会選手を5回以上)
田中一美、池田正人、古手 敦
古手利勝、大久保誠、関野 健
杉山治男、坂巻克男、蓮沼佐利
鶴間良典、高野 衛、野高 輝
石井一正、山本智巳、島崎将一
石山茂樹、篠本 明、菊池輝彦

五穀豊穡と

1年の健康を願う

源清田地区あわんとり



1月14日、源清田地区で、恒例のあわんとりが行われました。

あわんとりは、毎年この時期に行われる正月行事で、正月飾りなどを焼き、篠竹につけた餅をこの火で焼いて食べると1年間風邪をひかないと言われ、五穀豊穡と健康を願って古くから行われています。

参加した子どもたちも、自分で竹に刺した餅を焼いて、その餅を美味しく食べていました。



生活

いばらき就職

支援センターのご案内

県では、若年者や再就職が困難な中高年の方々などに対し、きめ細かな就職支援サービスを行う「いばらき就職支援センター」を開設しています。

◆サービス内容

- ・職業紹介：就職のあっせん
- ・就職相談：就職に関するアドバイス等
- ・内職相談：内職紹介、あっせん
- ・職業適職診断：求職者の興味・関心・志向等の診断
- ・キャリアカウンセリング：就職に関する悩みの相談等

2月
february
お知らせ

・ジョブカフェけんなん：若者の仕事さがしのお手伝い（すべて無料です）

◆相談時間

平日 9時～12時
13時～16時

◆開設場所（問合せ先）

- 土浦市真鍋5-17-26
土浦合同庁舎3階
- いばらき就職支援センター
- 県南地区センター（就職相談・職業紹介・内職相談）
- TEL 029-825-3410
- ジョブカフェけんなん（若者の仕事探し）
- TEL 029-825-2822

「教育・子育て電話相談」のご案内

子育ての不安や悩みに相談員がお答えします。
県では、子育てに不安を抱

2月の納税

- ◆ 固定資産税 4期 ◆
- ◆ 国民健康保険税 6期 ◆
- ◆ 介護保険料 6期 ◆

徴収日は2月28日です

善意のご寄付

(敬称略)

河内町たばこ販売組合
代表 山倉康道
17,860円
DECカラオケ好友会
20,100円
空の日成田地区実行委員会
80,000円
貴友会
102,255円
稲敷農業協同組合
24,050円

— 社会福祉協議会へ —
皆様からお預かりした寄附金等は、趣旨に添って大切に使用させていただきます。
ありがとうございました。

いたり、自信をなくしたりして、悩んでいる保護者の方々に対象に、子どものしつけ、学校生活、家族関係など教育や子育てに関する相談について、年末年始の期間を除く毎日、24時間体制で専門の相談員がお応えする「教育・子育て電話相談」を行っています。

また、相談の内容によっては、精神科医や臨床心理士により、一人ひとりに合ったカウンセリング（面談・電話）が受けられるようになっております。
ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。
相談される方の秘密は厳守いたします。

TEL 029-1225-7830
(午前9時～深夜零時)

また、FAXや電子メールでも24時間相談を受け付けています。

◆問合せ先

http://www.mito7830.gaku
syu.ibk.ed.jp/
県生涯学習課

◆問合せ先

TEL 029-301-5322

FAX 029-301-5339

メールアドレス：syogaku

2@pref.ibaraki.jp

茨城県育成奨学資金の

ご案内

県教育委員会では、高校生

などを対象に、奨学資金を無

利子でお貸ししています。

◆募集時期

毎年4月～5月中旬

◆申請手続

在学している学校から申請

書などを受け取り、学校に申

◆返還について

貸与終了月から6箇月据置

後、10年以内に半年賦または

年賦により返還していただき

◆問合せ先

ます。

◆貸与月額

国公立 一万八千円
自宅通学 一万八千円
自宅外通学 二万三千円
私立 三万円
自宅通学 三万円
自宅外通学 三万五千円

県高校教育課

TEL 029-301-5245

FAX 029-301-5269

http://www.edu.pref.ibaraki.jp/

aki.jp/

再就職登録者支援事業

のご案内

「育児や介護から手が離れたら、もう一度働きたい」という皆様へ再就職の準備を応援します。

財21世紀職業財団では、妊娠・出産・育児又は介護を理由として退職し、将来再就職を希望する方を登録し、さまざまな支援を行っています。登録は無料です。

登録した方への支援内容は

・ Re・Beワークセミナー（再就職準備セミナー）への参加

・ 情報誌の提供

・ 個別相談 など

登録の対象は、妊娠・出産・育児又は介護を理由として退職し、将来再就職を希望する方。ただし、退職前に雇用保険被保険者であった方。

◆問合せ先

財21世紀職業財団茨城事務所

TEL 029-226-2413

http://www.2020net.jp

募集

平成19年度 県政モニター
およびインターネット
モニターを募集します

県では、「県政モニター」と「インターネットモニター」を募集しています。

◎活動内容

① 通信用紙による県政に対する意見、提案の提出

② アンケート調査への協力

③ 地方会議や施設見学会への出席

◆ 任期 平成19年4月委嘱の日から平成21年3月末日までの2年間

◆ 募集人員 50人

◆応募資格

① 県内在住の満20歳以上の方
② 公務員・地方公共団体の議会の議員でない方

③ 国・市町村のモニターおよびインターネットモニターと兼務にならない方

④ 過去5年以内に県政モニターを経験していない方

◆ 応募方法 県庁総合案内、各地方総合事務所、各市役

所・町村役場に備えてある県

政モニター応募用紙」に必要事項をご記入の上、ご応募ください。また、県のホームページからもご応募できます。

◎インターネットモニター

併せて、インターネットを利用したアンケート調査への

ご協力をいたたくインターネットモニターも募集しています。詳しくは、県ホームページに掲載の募集案内をご確認の上、ご応募ください。

◆応募締め切り

平成19年2月28日（水）
（当日消印有効）

◆応募・問合せ先

県広報広聴課広聴担当

〒310-0855

水戸市笠原町978番の6

TEL 029-301-2123

http://www.pref.ibaraki.jp/topics/bosyu/

http://www.pref.ibaraki.jp/topics/bosyu/

平成19年度県立水戸南高等学校
学校通信制課程生徒募集

県立水戸南高等学校通信制課程は、向学の意志を持ちながら、いろいろな事情で毎日通学出来ない方々でも、職場や家庭にいながら学ぶことのできる学校です。

◆ 受付期間

一般入学（新入学）3月15日～3月28日まで／編入・転入学2月23日まで
※土・日祝日を除く午前9時～午後5時まで

◆応募資格

一般入学は中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業又は卒業見込みの者。編入学は、高校に在籍していたが、現在退学している者。18単位以上を修得している者。転入学は現

在高校に在籍していて、18単位以上修得する見込みがあり、正当な理由がある者。いずれも居住地又は勤務先が茨城県にある者。

◆問合せ先

〒310-0804

水戸市白梅2-10-10

県立水戸南高等学校（通信制）

TEL 029-247-4284

HP http://www.mitominami-h.ed.jp/

「いなしき青年の家」閉館のお知らせ

社会教育施設「いなしき青年の家」は、昭和50年6月10日に稲敷市柏木の丘陵地に生活体験をとおして規律・友情・奉仕の心を養い、心身ともに健全な青少年を育成することを目的に開設され、これまで青少年を中心として多くの方々にご利用いただき、所期の役割を果たしてきたところであります。

しかしながら、ここ数年価値観の変化や余暇ニーズの多様化、週休2日制の定着等から圏域内利用者も減少への傾向にあることや建築後31年余が経過し施設の老朽化が進んでいる現況を勘案したなかで関係市町村において協議した結果、閉館することになりました。

皆様の長年にわたるご利用を心から感謝申し上げます。

閉館日 平成19年3月31日（土）

◆お問合せ◆ 稲敷地方広域市町村圏事務組合
いなしき青年の家 TEL 029-894-2855

※いなしき青年の家では、代替施設のご案内をさせていただきます。

◆ 定例相談 ◆

心配ごと相談

日時 3月1日(休) } 午前10時～正午
 3月15日(休) }
 場所 公民館第2分館
 問合せ先 河内町社会福祉協議会
 ☎84-2830

教育相談

日時 月・水・木曜日 午後1時～5時
 場所 教育委員会事務局
 問合せ先 ☎84-3322
 FAX84-4730

成田空港に関する相談

日時 月～金曜日 午前9時～午後4時
 場所 (株)ふるさとかわち事務所2階
 (河内町長竿188)
 問合せ先 茨城地域相談センター
 ☎84-5017

◆ 交通事故発生状況 ◆

町内の交通事故1月発生状況

発生件数(人身事故) 5件
 死者数 0人
 負傷者数 9人
 竜ヶ崎警察署調べ

◆ 戸籍の窓 ◆

おめでた 5人
 おくやみ 13人
 転入 13人
 転出 25人

◆ 人口・世帯 ◆

平成19年2月1日現在
 人口 11,134人
 男 5,510人
 女 5,624人
 世帯数 3,409世帯

◆ TELガイド ◆

役場	☎84-2111 FAX84-4357	教育委員会事務局	学校教育G ☎84-3322 生涯学習G ☎84-2843 (公民館)
都市整備課	上下水道G ☎84-2361 建設環境G ☎84-2921	福祉センター	☎84-3699
つつみ会館	☎86-3740	保健センター	☎84-4486
地域包括支援センター	☎60-4071	給食センター	☎84-2845
		防災かわち (音声案内)	☎84-2212

◆ 休日診療当番医(3月) ◆

	稲敷・河内地区	龍ヶ崎地区	
		内科	外科
4日	鈴木クリニック ☎029-892-3640	池田病院 ☎64-1152	秋本脳神経外科 ☎64-3311
11日	宮本病院 ☎029-979-2114	村井医院 ☎62-3380	菊地整形外科 ☎64-6111
18日	古橋医院 ☎029-978-3770	若松内科胃腸科 医院 ☎64-0533	斎藤クリニック ☎64-3527
21日	ゆはらくりニック ☎029-894-2002	野上小児科医院 ☎65-3375	みやおか外科整形外科クリニック ☎62-3761
25日	江戸崎病院 ☎029-894-2611	うちだ医院 ☎64-8821	飯野クリニック ☎60-2323

※休日当番医は変更することがあります。
 診療を受ける際は、必ず電話でご確認ください。

◆ ごみ収集日(3月) ◆

資源回収日				燃えないごみ収集日			
A地区	13・27	C地区	6・20	A地区	10	C地区	24
B地区	1・15・29	D地区	8・22	B地区		D地区	
燃えるごみ収集日				粗大ごみの予約収集日			
全地区	毎週月・水・金曜日			3月中の予約→4月7日			

広報

かわち

平成19年2月15日発行

編集・発行 河内町役場総務課
 〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183
 ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/>